

あかはにやま 赤埴山索道運送施設 変更

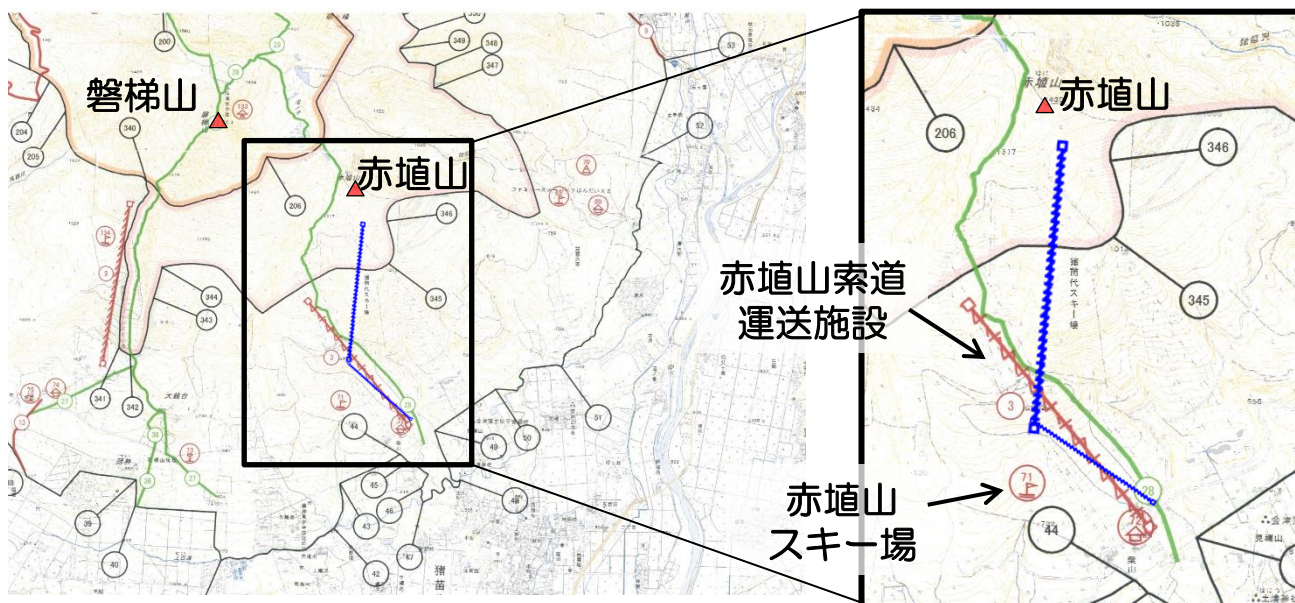
路線距離 : 2.5km → 2.5km
最大輸送量 : 600人/時 → 2,400人/時
執行者(予定者) : 民間

福島県猪苗代町

第2種、第3種特別地域(国有地)

赤埴山スキー場(既執行)

●位置図・計画図(赤:現行、青:変更後)



- ・福島県猪苗代町の赤埴山(あかはにやま)索道運送施設は、磐梯山の南東麓に位置し、赤埴山スキー場事業内にある運輸施設である。
- ・周辺はスギ植林地の他、シラカンバやミズナラの広葉樹林が広がっている。赤埴山山頂から磐梯山に至る登山道沿いには池塘が点在し、お花畑を形成している。
- ・スキーやスノーボード等のウィンタースポーツが盛んである。

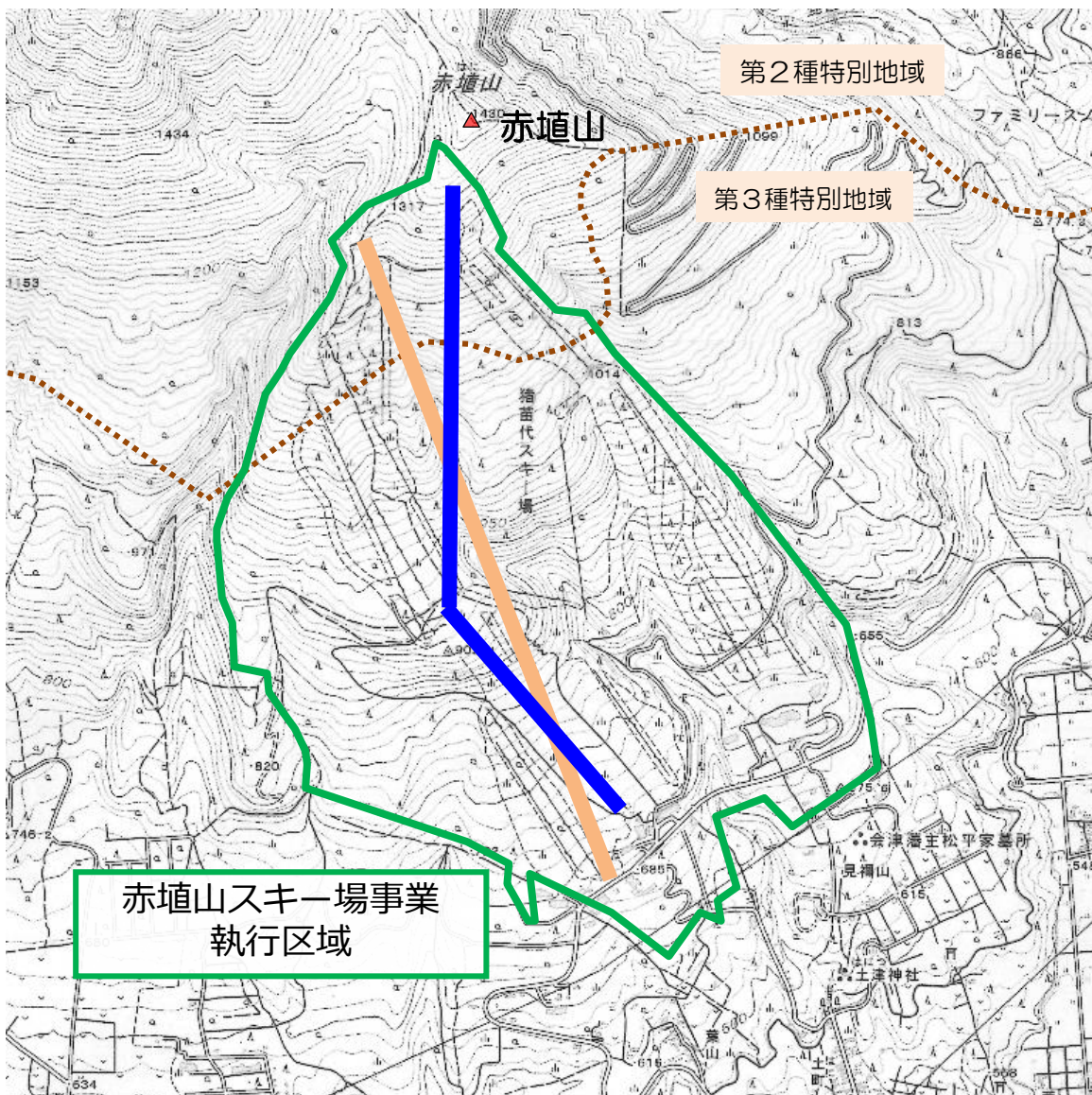


■ 変更後（変更路線）
■ 変更前（現行決定路線）

事業規模

路線距離：2.5km → 2.5km

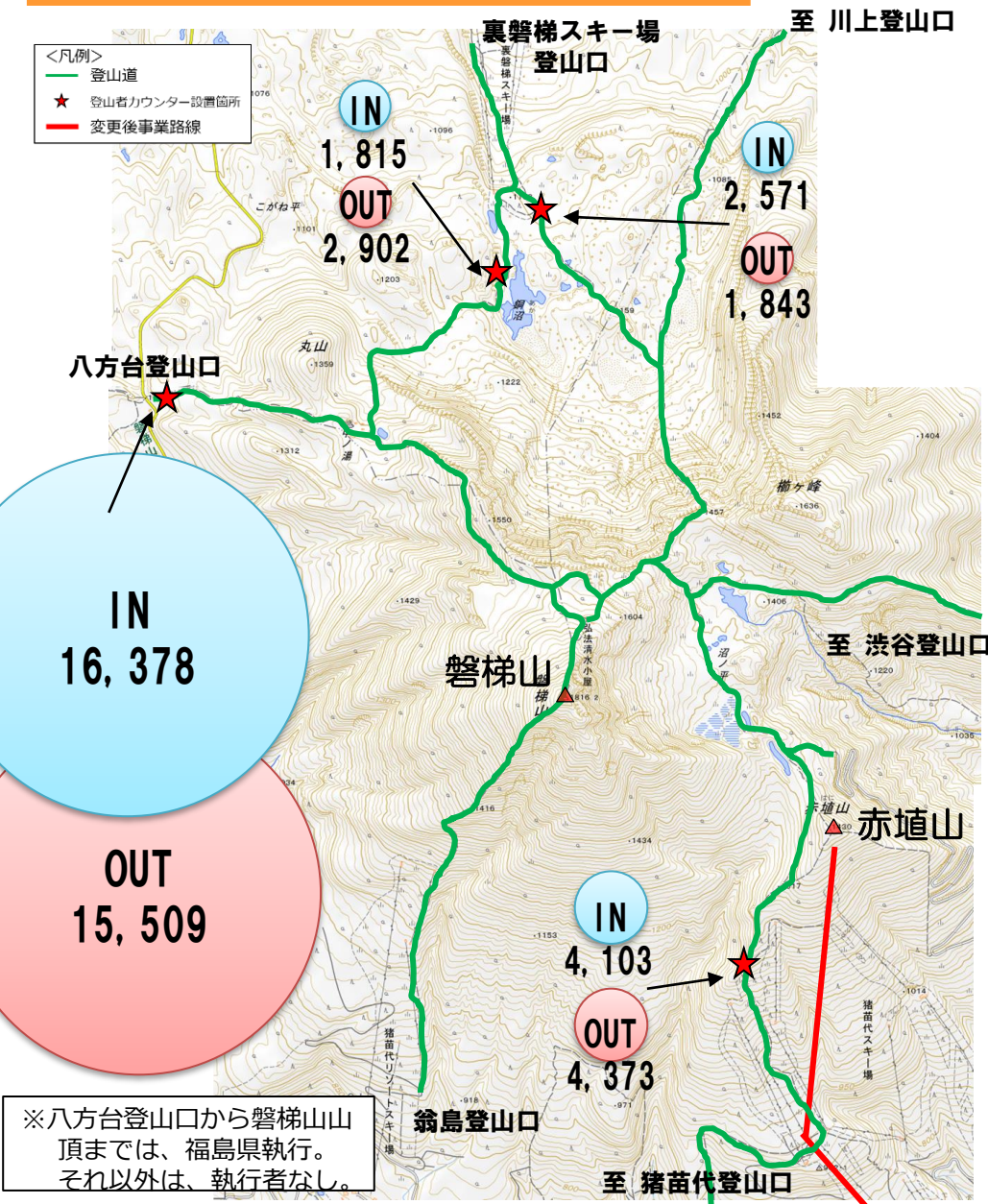
最大輸送量：600人/時 → 2,400人/時



- 平成21年に事業規模を決定した赤埴山索道運送施設は現在未執行。
- 事業決定規模のうち、路線距離は平成21年決定時から変更なし。時間あたりの最大送量を増加し、路線位置を変更。
- 赤埴山スキー場事業の事業執行面積は266.53haで、執行者は8者となっている。
- 事業規模の変更は、新たに Gondola と駅舎の建設計画によるもの。一部の登山道に利用者が集中する登山道の荒廃や路上駐車等の課題を解決し、適正利用の普及啓発を普及啓発するための施設として、また、夏季におけるスキー場の潜在的な自然資源の活用策として、事業決定の変更を行うもの。

＜凡例＞

- 登山道
- 登山者カウンター設置箇所
- 変更後事業路線



- 磐梯山の登山口は6ヶ所。
- 利用者の多くが、磐梯山西側の八方台登山口を利用しており、登山道の踏み外しや混雑による利用環境の悪化、トイレ問題等、利用上の課題が生じている。また、利用が集中するお盆や紅葉時期には、登山口の駐車場は満車で、路上駐車が発生。
- 福島県を代表する猪苗代湖を望む新たな魅力地点を整備し、赤埴山へのアクセスを向上することにより、利用分散を図る。

八方台混雜狀況



磐梯山山頂 (2021/9/20)



ゴンドラ施設（駅舎、鉄塔、ケーブル）の整備

赤埴山スキー場事業 緑地復元予定地位置図(面積総計:67,466㎡+町営ロマンス敷)



- 施設の整備は、赤埴山スキー場事業を執行している民間事業者が実施予定
- ゴンドラ施設として、山頂駅舎、中腹駅舎、鉄塔（ケーブル含む）、給排水・通信設備等の施設を計画。
- 山頂駅舎やゴンドラ敷きの伐採が生じることから、既存スキー場のゲレンデの一部を緑化し、保存緑地率を増やす。
- 山頂駅舎は、磐梯山の火山噴火に対応した避難シェルターを兼ねた施設で、赤埴山の稜線（スカイライン）を切らない位置に計画。
- 磐梯山の猪苗代登山口からの利用者増に対応するため、事業者や地元自治体を中心となって関係機関・団体と登山道の管理や利活用方針を検討する予定。



上左：山頂駅舎イメージ図 上右：中腹駅舎イメージ図

整備に係る自然環境・景観配慮について

○立地選定、植生復元等による自然環境への影響負荷の低減

- ・ 駅舎・ゴンドラ建設位置については、スカイラインを横切らない位置を選定。
- ・ 建築物の形状や色合いは、周辺環境との調和するものとし、主要眺望点から見て目立ちにくいものとする。
- ・ ケーブルの支柱を25本から18本に削減し、土地の改変や景観への影響を最小限とする。
- ・ 猪苗代スキー場のリフト利用者数を考慮して、未利用地や利用者数の低いリフトは撤去し、本来の森林に戻す。植生復元には地域と連携した植林活動を実施する。

赤埴山スキー場事業 現行配置図



<スキー場エリアの緑地率の向上>

- 赤埴山スキー場事業(執行面積) : 266.53ha (うち保存緑地173.12ha)
- 本整備面積 : ゴンドラ敷き(※1) 約5ha
山頂駅舎約0.7ha
- 植生復元面積 : 約6.75ha

整備面積 < 植生復元面積

- 保存緑地率(※2) 64.95%→67.49%

※1 ゴンドラ敷部分は点検用通路を確保し、可能な限り緑地管理する。

※2 敷地面積に対する緑地面積の割合。

精査後の詳細は、
当初執行認可申請の際に調整

整備に係る自然環境・景観配慮について

○立地選定、植生復元等による景観配慮

- ・猪苗代湖畔からの眺望に影響を及ぼさないよう、駅舎を山頂から下がった位置としている。
- ・当初、伐開幅は安全設計で30m幅で計画していたが、必要最小限の範囲として15m幅としている。
- ・ゴンドラの周りは防風林を保存あるいは植栽する予定で、遠方からも視認されにくいものとなる予定。
- ・本施設の設置範囲は現行スキー場執行区域内を予定している。

